

# 秋晴れのまつり日和に1550人余

## 交流を深めた第20回健康まつり

# さるかどした

八戸医療生活協同組合  
〒031-0001  
八戸市類家5丁目38-20  
発行責任者 内田弘志  
Tel 0178-71-3456

### 《健康まつり特集》

10月9日、第20回記念健康まつりを祝福するような最高のまつり日和に恵まれ、前回は上回る大勢の参加者で賑わい、医療生協ならではの企画を楽しんでもらいました。各会場の雰囲気写真を通して紹介します。裏面には広場のようすを載せました。

#### 松田とみ一座に会場は満席

南部の心を歌う松田とみさんの民謡をはじめ、一座のみなさんの三味線、太鼓、民謡に踊りと続くステージに満席の会場は拍手に包まれ、とみさんのユーモアに富んだ語りには笑いが絶えませんでした。60分のステージがあったという間に終わったという声が聞かれました。



#### 八戸水産高校生の大漁太鼓でオープン

各地に招かれ勇壮な演奏で活躍されている県立八戸水産高校のみなさんに第20回健康まつりのオープニングを飾ってもらいました。素晴らしい大漁太鼓と笛の演奏は会場外の広場にも響きわたりました。この日初公開の演奏もあり会場から大きな拍手がおくられました。



第20回記念健康まつりを盛況に催すことができました。参加された組合員のみなさん、準備から当日の運営までご奮闘された各支部の輪を更に広げましょう。

#### ご協力ありがとうございました

実行委員長 佐藤照子

#### 道上さとみさんの弾き語りにも感動



八戸出身、健康まつり初登場の道上さとみさんの弾き語り、歌うステージに若い人ほど感動を呼びました。立つて会場のみなさんといっしょに歌い、親しみを感ぜたと云います。



大演芸会に6支部から出演  
是川、階上、南郷、二中、小中野、根城の6支部から、この日のために練習を重ねてきた健康体操、組踊り、歌など楽しい出し物が続きました。6支部のみなさんの熱演に盛大な拍手がおくられました。



#### 健康づくりに関心高い保健コーナー



公民館大会議室の保健コーナーは健康チェックや健康相談、お薬相談、栄養相談など医療生協ならではの企画に来場者も多く、今年も大忙しでした。健康づくりといざという時の安心は、医療生協の原点です。保健コーナーの充実のために組合員のみなさんからも希望を寄せてくだされば幸いです。

インフルエンザ予防接種が始まっています。冬を前に早めに接種しましょう。

#### 生活相談コーナーに14人

弁護士、税理士、社会保険労務士など専門の相談員を配置していましたが、14件の相談となりました。相談にこられたみなさんからはこれからも続けてほしいとの声が寄せられました。



次々と続く楽しいステージに満席の会場は笑顔と拍手に包まれました。

### 診療所休診日

(毎月最終土曜日)

月	休診日
11月	26日
12月	31日
1月	28日

※年末・年始の休診日は、12月30日から1月3日まで。

(診療所 きくち)

私は医療チームの「リハビリ・介護」チームに配属され、被災者の方とお話をしたり、緊張をほぐすためのマッサージなどを行ったり、集団体操で体を動かしたりと、頭よりも体を使うほうで活躍してきました。でも、被災地の皆さんは強いですねえ。自分の家を失って、愛する人を失った状況でも、笑顔を絶やさず前向きに生きようとしているんです。逆に私が元気をもらったりなんてこともよくありました。「一人」の強さと温かさをたくさん感じてきました!!!

### 虹の旗

5月8日から12日まで、東日本大震災で大きな津波被害を受けた大船渡市に、医療チームの一員として支援に行ってきました。震災から二ヶ月後というこ



大人気!青空広場 日本晴れのもと、広場のベンチは特に昼の時間は満席。交流の場となりました。



模擬店大繁盛～早々に完売支部も 天候に恵まれたこともあり各支部の模擬店は賑わいを見せました。広場には、一中、湊・江陽、小中野、長者、下長、根城、是川、上十三、三中支部の他、生健会、こだまの園、八建協、コープあおもりなどの出店が並びました。広場とは別に公民館の中では、東、大館(食堂)、二中(喫茶)の各支部の模擬店も賑わいました。

是川支

福祉体育館の外装工事で模擬店や子ども広場への影響など心配されましたが、実行委員会の努力で会場を有効に活用することができました。

健康まつり・広場・中庭あらかると



良い子のみなさんも楽しんでくれましたよ



根城、下長支部のフリーマーケットには掘り出し物を求める人で賑わいました。



支部・サークル・事業所紹介コーナー 体育館から公民館への渡り廊下や公民館玄関先の展示コーナーには支部活動と事業所活動を紹介する作品が壁面いっぱい掲示され、関心をよびました。



生協強化月間—組織委員会からの呼びかけ

全国の医療生協は、この十月から生協を大きく強くしようとし協強化月間に取り組んでいます。八戸医療生協は十二月までの三ヶ月を月間とし、組合員一万人(あと四百人)と目標をめぐす目標を掲げてとりくんでいます。来年は診療所を増設します。理事會では創立二十年を迎えて新たな事業計画を検討しています。そのためには組合員増やし、出資金増やしを求められます。一人の組合員は手の届くところまできています。組合員のお力を貸してくださいませ。



「保険料を下げてください」自治体キャラバンで要望

社保委員会は、10月20日、21日の二日間、三八社会保険推進協議会の一員として八戸市をはじめ三八の各自治体を訪問し、国保税や介護保険料などの軽減を要望し、福祉行政の拡充について懇談しました。



社保委員会テントでは、「原爆と原発」展示コーナーを設け、ノーモアヒロシマ・ナガサキ、ノーモアフクシマ、ノーモアバクシャと訴えました。



今年は親子でのグラウンドゴルフも目立ちました

最高に盛り上がった日本高齢者大会  
八戸医療生協から延べ70名参加

9月12日、13日、青森市で開かれた第25回日本高齢者大会に八戸医療生協から二日間延べ70人と目標をこえてすることができました。各支部のみなさん、ありがとうございました。

全国47都道府県から2日間で延べ4500名も参加しました。写真は、歓迎の大合唱で全国からの参加者を迎える青森県のコーラス団(青森市文化会館)

平均寿命

◆シリーズ古玉農二の辻説法⑧◆

毎年七月末に前年の平均寿命が公表される。2010年のそれは、女性86.39、男性79.64歳とあり、前年対比それぞれマイナス0.05、プラス0.05歳で、寿命の伸びもほぼ落ちついたようにみえる。四月某日、妻が突然発作を起こし、倒れる。救急車の必要もなく、小康状態に落ち着く。七月、かかりつけ医の紹介でバルーンを使った血管補強手術完了。現在は何事もなく就業している。医療の進歩が彼女の寿命を押し上げたものと感嘆。施術のドクターと関係者に謝意を表す。  
知人の子息が脳出血で急死。五十歳代前半では家族も事業もたまらない。愚妻の例を想起し、予防措置は充分であったのかと心で責める。脳は複雑で、頑丈な頭蓋骨があるから予測も難しいものかとも思い、運の分かれ目もその辺にあるのかとも思う。  
三大死因と言われる、ガン、心疾患、脳卒中の死亡確率は、男性54%、女性41%に近い。病いにも予兆があると聞く。それに耳を傾け、成人病の検診を受けよう。突然死だけは避けたいものである。

12月7日(水)・8日(木) 八戸市公会堂文化ホール  
上映時間(両日とも) ①15:00 ②18:00  
◇前売券 大人 1,000円 中高校生 800円



医療生協では市内の各生協、八戸農協をはじめ多くの市民団体といっしょにとり組んでいます。多くの組合員のみなさんの観賞をお願いします。  
ひきこもりの女性が稲作り青年との出会いを通して立ち直っていく感動的な映画です。TPPが問題になっている今、食と農のことをあらためて考えさせられる作品です。八戸市教育委員会市連合PTA、県生協連、八戸農協他報道機関各社の後援を得た上映会です。

映画「アンダンテ」稲の旋律の上映会にとりくんでいます

新入職員紹介

関川 洋子 検査技師  
診療所で検査を担当する事になりました。患者様の健康づくりのお手伝いができるようにがんばります。  
川本みお子 訪問看護ステーション看護師  
患者様、ご家族の方が安心して気持ち良く過ごせるような看護を提供していきたいです。